

## 研究情報公開

受付番号	176
研究課題名	看護師による入院時口腔内評価が差し歯の誤飲の早期発見に繋がった一例
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院
研究実施者	加藤節子 仲地修一郎 金城利雄 前田圭介
研究の背景・目的・方法等	<p>今まで、入院時患者の口腔内の観察を意識的に行っておらず、患者の口腔内の把握がなされていなかった。しかし、高齢社会となり、口腔内のトラブル（残根歯、破折歯、動揺歯等）は多く、いつから歯が欠損していたのか、義歯の破損があるのか等の把握ができていない現状であった。そのため、本年1月より、入院時全患者に対し、OHAT-Jを用いた口腔内評価を開始した。今回、前医で差し歯を誤飲した患者が、当院入院時のOHAT-J評価により、入院当日に歯の損失を認めX-P撮影で誤飲を発見し、早期に内視鏡下摘出術を行った症例を報告する。</p>
研究期間	平成30年1月～3月